



どこにいても ケアが届く社会へ

第15回日本在宅看護学会学術集会長
藤野泰平

「社会インフラとしての在宅看護——在宅看護は、社会を変えられるのか?」。これは、第15回日本在宅看護学会学術集会のテーマです。初めての名古屋市でのリアル開催が決まり、企画委員の仲間たちと共に、議論を重ねてきました。「社会インフラ」という思いは、電気水道ガスのように、当たり前に必要なケアが受けられることをイメージしています。これは、日本中どこにいてもケアを受けられること、またどんな疾患、どんな周辺環境であっても、住みたい場所で住みたい人と幸せに生きることを支える価値を提供したいという思いも含めてあります。

現在、訪問看護ステーション数が約1万7000か所になりますが、まだまだ都市部とへき地での偏在があります。令和に入ってからデータでは、全国の自治体の約25%に訪問看護ステーションがないと言われています。そうした偏在の課題も、社会保障サービスを提供するわれわれ訪問看護師が、向き合っていないといけません。

訪問看護に不可欠な「想像力」

今回の学術集会では、全国の仲間から演題が120題集まりました。都市部でもケアが十分に受けられない人をなくすには、看護師の力を十分に発揮できるようにすること、心理的安全性の高い職場環境、カスハラを含むハラスメントがない環境づくり、看護師の力を高めるための育成などが重要であり、シンポジウムではそうしたテーマの講演があります。また、ケアの質を高めるにはアウトカムの測定が必要不可欠であり、その可視化や、物語としての利用者さまの人生をどう支えていくかという内容の発表もあります。

われわれ訪問看護師は、利用者さまの家に訪問させていただき仕事をしています。それゆえに、「どういう生活をしているのか」「目の前の人以外に困っている人はいないのか」といった想像力を持つことはとても大切です。そのため、訪問看護の世界に長らく従事されている専門看護師や、医療福祉の方々だけではなく、メディアや大学、政治等との多方面の専門家との交流の機会も多数企画しています。多職種連携をしながら、想像力を高めるきっかけをつくれたらと思います。

1日目の夕方には懇親会も用意しております。ぜひ名古屋の地へいらしてくださいことを心よりお待ちしておりますとともに、全国の仲間たちと、未来を語ることを心より楽しみにしております。

第15回日本在宅看護学会学術集会 社会インフラとしての在宅看護——在宅看護は、社会を変えられるのか?

日時 現地会場 11月29日(土)～30日(日) オンデマンド配信
11月29日(土)9:00～12月19日(金)17:00

会場 ウィングあいち(名古屋市中村区)

プログラム

集会長講演「2025年から2040年へ、社会インフラとしての訪問看護ステーションの挑戦」藤野泰平(株式会社デザインケア、みんなのかりつけ訪問看護ステーション)

教育公演「エンドオブライフケアにおける倫理的課題:その人の物語(ナラティブ)と臨死倫理」杉浦真(安城厚生病院)

特別公演「社会インフラとしての在宅看護を語る」馬庭恭子(元広島市議・元地域看護専門看護師)

理事会セミナー「『在宅看護』の定義について」山田雅子(聖路加国際大学)、尾崎章子(東北大学)、小野若菜子(東京都立大学)、蒔田寛子(豊橋創造大学)、吉江悟(一般社団法人 Neighborhood Care)

市民公開講座「がんと仕事について(仮)」秋山美紀(慶應義塾大学環境情報学部)

シンポジウム 1「在宅ケアの未来を創る(担う)実践者をどう育てるか」増田貴生(みんなのかりつけ訪問看護ステーション箕面管理者)、浅井祐毅(終訪問看護ステーション)、寺澤亜希(株式会社キープオン役員、訪問看護キープオン守山管理者)、星野純子(名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻)

シンポジウム 2「訪問看護の質向上に向けた評価指標の標準化のための研究:長寿科学政策研究事業からの報告」関根小乃枝(厚生労働省老健局老人保健課看護専門官/介護予防対策専門官)、野口麻衣子(東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学分野)、呉金艶(東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学分野)

シンポジウム 3「南海トラフ地震・複合災害に備える愛知・東海:BCP進化・名古屋モデル・仲間づくりで築く在宅ケアのレジリエンス」大久保貴仁(株式会社デザインケア)、佐々木裕子(愛知医科大学)、椿佳代(エンジェルランプ(男女共同参画で防災を考える))

シンポジウム 4「訪問先でのカスハラにどう向き合うか」前田哲兵(前田・鶴之沢法律事務所)、齋藤緑(スギナーシングケア株式会社スギ訪問看護ステーション)、赤瀬佳代(訪問看護ステーション晴)、田中千津子(なにわ訪問看護ステーション)、山崎和代(株式会社医療・介護を受ける人と担う人のナーシングカンパニー代表)、武ユカリ(森宮医療大学看護学部)

シンポジウム 5「減る」社会でも、看護でつなぐ」原光明(訪問看護ステーションオナリス代表取締役)、密山要用(医療法人かがやき総合在宅医療クリニックみの)、松本勝(石川県立看護大学共同研究講座ウェルビーイング看護学)、尾崎章子(東北大学大学院医学系研究科老年・在宅看護学分野)

シンポジウム 6「今起きている技術革新から紐解く、『自分らしく生きる』を実現するための連携」市川衛(武蔵大学社会学部)、友滝愛(東京大学大学院医学系研究科社会連携講座ナーシングデータサイエンス講座)、友納理緒(参議院議員)、眞榮和紘(AMI株式会社)

シンポジウム 7「人が辞めずに、いきいき育つ! 心理的安全性の高い組織の創り方」秋山美紀(武蔵野大学ウィルビーイング学部)、竹田明弘(和歌山大学社会インフォマティクス学)、中島朋子(東久留米白十字訪問看護ステーション)

※その他、交流集会などを多数企画

参加費 [後期登録]会員 1万1000円、非会員 1万3000円、基礎教育課程の学生 1000円
※学生は、看護学の基礎教育課程の学生のみ

運営事務局

エイトカラース合同会社

〒468-0011 名古屋市中白区平針 3-2211-2A

✉ janhc15th@eightcolors.co.jp(平日 9:00～17:00)

https://janhc15th.site-s.jp/